

事例 2

蓄積してきた切削加工技術を活かし、 新規事業でモノづくりの面白さを再認識

〔株〕栗原精機

内視鏡や産業機械の駆動部などの精密部品（写真1）を手掛ける（株）栗原精機（埼玉県川口市）。精密小型 CNC 旋盤や小型 5 軸制御マシニングセンタ（MC）を効果的に活用し、穴や材料の厚さが薄い部分を持つ複雑形状の小物部品を、MC や複合 NC 旋盤での加工とも組み合わせながら、要求仕様を満たす寸法形状に仕上げる。基盤技術の精密切削加工技術を活かし、取り組んできたプラモデルやラジコンなどのカスタムパーツの製造事業も軌道に乗ってきた。2020 年からは、キャンプ用品を自社ブランド商品として展開している。あらゆる切削加工用工作機械を駆使して、蓄積してきた加工技術を効果的に活用し、新しいモノづくりに取り組んでいる。

精密切削技術を活かした玩具向け カスタムパーツ

思い切った設備増強は、中小金属加工現場に大きな飛躍のきっかけを授ける。リーマンショックで受注が激減した栗原精機も思い切った設備投資

が回復の源泉になった。

栗原稔社長（写真2）は、「本当に会社が潰れるのでは」と危機感を抱き、「どうせ潰れるならいい機械を導入して、もしV字回復をしたら使えるように」と2009年に森精機（当時）製 CNC 旋盤「NL-2500」を導入。

その読みは当たり、半年後受注が復活すると売上も徐々に増えていった。「1号機導入から2年くらいに間に4台まで増やしました」

その後も増設し、高機能な3軸MCも導入し



写真1 / 主要製造品の内視鏡部品や光学製品など

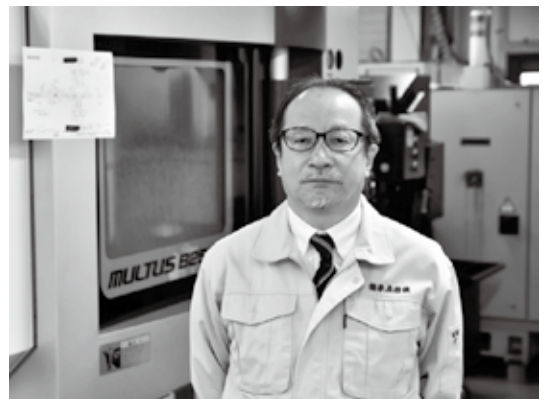


写真2 / 栗原稔社長

会社概要

会社名	（株）栗原精機
所在地	〒334-0056 埼玉県川口市峯 68-1
TEL	048-295-0287
設立	1968 年
代表者	代表取締役社長 栗原 稔
従業員数	21 名
事業内容	医療機器と各種産業機械の部品の製造、ホビーのカスタム部品とアウトドア関連製品の企画と製造、販売